

展示室1 イギリス美術の肖像

イギリスでは、地理的また宗教的要因などから他のヨーロッパ諸国とは異なる美術の展開を見せました。貴族社会であることを背景に、自身の威厳ある姿を残すための肖像画が多く制作され、ホガース、ゲインズボロ、レイノルズらが活躍します。また、大陸の影響を受けながら風景画が隆盛を極め、ターナー、コンスタブルの二大巨匠が登場、さらに神話や文学の世界からインスピレーションを受けたラファエル前派、世紀末に彗星のごとく現れたピアズリーと、多彩な美術が花開いてきました。

当館の誇る肖像画の優品を中心に、風景画そして世紀末美術へ…輝かしい個性を放つ画家たちの作品をとおして、18世紀後半から19世紀イギリス美術の輪郭をめぐるります。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ウィリアム・ホガース	サミュエル・マーティンの肖像	1758-60頃	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス
サー・トマス・ローレンス	ラビー・ウィリアムズ牧師	1790年代初頭	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	キティ・フィッシャーの肖像習作	1760-62頃	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	荷馬車のいる丘陵地帯の森の風景	1745-46頃	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	牧夫と牛のいる森の風景	1758頃	鉛筆・紙
ポール・サンドビー	グラモーガン州ブリトン・フェリーにて 家屋よりニース河上流を眺める	『ウェールズ12景』第1部 1775	アクアチント、エッチング・紙/ポートフォリオ
ポール・サンドビー	ベンブローク城	『ウェールズ12景』第1部 1775	アクアチント、エッチング・紙/ポートフォリオ
ポール・サンドビー	西方、グラモーガン州カーディフ城門	『ウェールズ12景』第3部 1777	アクアチント、エッチング・紙/ポートフォリオ
ポール・サンドビー	西方から望むカーディフ城	『ウェールズ12景』第3部 1777	アクアチント、エッチング・紙/ポートフォリオ
ジョン・ヴァーレー	ポントシスリット・アクアダクト	1826	水彩・紙
ジョン・コンスタブル	穀物畑の農家	1844頃	メゾチント・紙
ジョン・コンスタブル	ヤーマス、ノーフォーク	1832	メゾチント、手彩色・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョン・クローム	ヘレスドンの眺め	1807頃	油彩・キャンバス
ジョン・マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	1815頃	油彩・キャンバス
サー・ジョン・エヴァレット・ミレイ	自画像		エッチング・紙
サー・ジョン・エヴァレット・ミレイ	ジェームズ・クラーク・フックの肖像		エッチング・紙
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス
アルバート・ジョゼフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	寝床での読書	1858	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ランプの明かりでの読書	1858-59	エッチング、ドライポイント・紙
オーブリー・ピアズリー	ジュゼッペ・ヴェルディ		写真製版・紙
オーブリー・ピアズリー	レジャーヌ		写真製版・紙
オーブリー・ピアズリー	レジャーヌ	1893-94	ラインブロック・紙

展示室2 もうひとつの「芳」の系譜

歌川国芳には70人にも及ぶ門人がいたと伝えられますが、浮世絵師として一門の隆盛を支えた芳年等とは異なる系譜に連なった画家たちを、同時代に活躍した画家らと合わせて紹介します。

五姓田芳柳は、弟子に「芳」の字を与えて自らも国芳門下を誇っていましたが、新しい画風の習得を試み、息子・義松には西洋の表現を学ばせるなど、近代美術黎明期に大きな足跡を残しました。彼の元からは「芳」の字を継いだ者ばかりでなく、多くの門人が育ちました。

芳柳が活躍した横浜は、居留地として発展した都市独特の雰囲気がいまも伝わっています。この地で外国人の土産物として描かれたいわゆる横浜絵の絵師となった中山年次は、芳年の弟子として、やはり「芳」の系譜に連なる画家といえることができます。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
五姓田 芳柳	風俗図屏風		水彩・紙／六曲一隻屏風
五姓田 芳柳	六美人図		水彩・絹
山本 芳翠	園田銚像	1885(明治 18)	油彩・キャンパス
山本 芳翠	菊と燕と蝸牛		油彩・キャンパス、板
五姓田 義松	婦人像	1871(明治 4)頃	油彩・キャンパス
五姓田 義松	園田御令嬢肖像	1902(明治 35)	コンテ・紙
五姓田 芳柳(二世)	清国渡航	1901(明治 34)	水彩・紙
五姓田 芳柳(二世)	月の瀬・奥の谷		水彩・紙
五姓田 芳柳(二世)	妙義山第一門		水彩・紙
五姓田 芳柳(二世)	街道風景(信濃追分)		水彩・紙
五姓田 芳柳(二世)	風景		水彩・紙
山内 愚仙	風景		水彩・紙
中山 年次	日本風俗Ⅰ		水彩・絹
中山 年次	日本風俗Ⅱ		水彩・絹
チャールズ・ワーグマン	西洋紳士スケッチの図	1870年代	油彩・スケッチボード
チャールズ・ワーグマン	ふたりの日本女性		水彩・紙
チャールズ・ワーグマン	座る日本女性		水彩・紙
高橋 由一	風景(鳥海山)	1880年代	油彩・キャンパス
亀井 至一	『観古図説 陶器之部一』 (著述者出版人蜷川式胤、石版画師亀井至一、製造所玄々堂)	1876(明治 9)	石版、手彩色、一部卵白引き・紙／本
亀井 至一	『観古図説 陶器之部四』 (著述者出版人蜷川式胤、石版画師亀井至一、製造所玄々堂)	1877(明治 10)	石版、手彩色、一部卵白引き・紙／本
亀井 至一	美人	1894(明治 27)	石版・紙 秋本倫子氏寄贈
亀井 至一	東京隅田堤之景	1882(明治 15)	石版・紙
亀井 至一	五姓田義松像 玄々堂人物写生帳より		水彩・紙 亀井よし子氏寄贈
亀井 至一	亀井家伝来資料より 素描 10点		水彩・紙 佐藤家兄弟寄贈
亀井 竹二郎	石版『懐古東海道五十三驛真景』油彩原画より 草津驛 姥ヶ餅屋 土山驛 松ノ尾川 關驛 地藏堂 四日市驛 燈明臺 池鯉鮒驛 明神社 二川驛 岩谷観音 舞阪驛 自渡口望荒井 島田驛 吉原驛 暁霧望富士山 戸塚驛 神奈川驛 川崎驛 六合川眺望	1877-78(明治 10-11)	油彩・紙

展示室3 郷土ゆかりの美術

当館では、郷土ゆかりの美術を作品収集の柱のひとつとしています。そのなかで今回は、令和元年度と2年度、新たに収蔵された作品を中心に展示します。

花鳥画を得意とし、中国に渡って日中の美術交流と発展に寄与した渡邊晨畝、近代の南画界で活躍し、静かで味わい深い作風に到達した湯田玉水。長期間フランスを拠点に活動した土橋醇は、洗練された色彩と、鉄板などを用いた技法が特徴的な抽象表現を生み出しました。田口安男は、イタリア留学中に出会った古典技法、黄金背景テンペラなどの熱心な技法研究によって自らの作品に新たな展開をもたらしました。郷土が生んだ作家とその関係作家の作品をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
渡邊 晨畝	鷹		絹本着色 齋藤哲生氏寄贈
渡邊 晨畝	松上に鶴		絹本着色
湯田 玉水	冬村図	1921(大正 10)	絹本墨画
湯田 玉水	ぶどうに栗鼠	1921(大正 10)	紙本墨画
湯田 玉水	夏		紙本墨彩
鎌田 正蔵	鳥が落ちる	1986(昭和 61)	アクリル・キャンパス
鎌田 正蔵	ロボット家族(B)	1982(昭和 57)	アクリル・キャンパス
土橋 醇	生きている夜	1973(昭和 48)	油彩・キャンパス 土橋千鶴子氏寄贈
土橋 醇	星の幻想B	1975(昭和 50)	油彩、鉄板・板 土橋千鶴子氏寄

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
土橋 醇	喜望の星 (幻想の星)	1977(昭和 52)	油彩、水彩・紙	土橋千鶴子氏寄贈
土橋 醇	無題	1978(昭和 53)	油彩、鉄板・板	土橋千鶴子氏寄贈
田口 安男	缺・ひも・手	1956(昭和 31)	油彩・キャンパス	田口安男氏寄贈
田口 安男	手繰り出す眼	1965(昭和 40)	油彩・キャンパス	田口安男氏寄贈
田口 安男	波から焰へA	1987(昭和 62)	油彩、テンペラ・キャンパス	田口安男氏寄贈
田口 安男	波から焰へB	1987(昭和 62)	油彩、テンペラ・キャンパス	田口安男氏寄贈
田口 安男	白いトルソー呼一	2007(平成 19)	テンペラ・パネル	
秋山 泰計	仮面	1972(昭和 47)	木版・紙	1988年秋山泰計遺作管理会刷
秋山 泰計	Yaoyorozoo・八百萬	1985(昭和 60)	木版・紙	1987年秋山泰計遺作管理会刷

展示室 4-① 西洋版 地獄めぐりーダンテ『神曲』

西暦 1300 年 4 月、聖木曜日の晩、イタリアの詩人ダンテ・アリギエーリは地獄と煉獄、天国をめぐる彼岸の旅に出ます。この旅路は、ダンテが自身を主人公として『神曲』に著しており、後世の多くの芸術家を惹きつけました。

19 世紀イギリスの芸術家では、ウェッジウッドのデザインで知られる彫刻家、ジョン・フラクスマンが輪郭線のみですっきりと描くことで、この旅路の精神性を強調しました。一方、「幻視者」ウィリアム・ブレイクによる地獄篇は、その対極ともいえる熱量をはらみながらも、おなじく現実から離れたヴィジョンを表しています。

今年はちょうどダンテ没後 700 年です。この機会に版画をたどって、日本の地獄とは一味違うヨーロッパの地獄をめぐるませんか。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ウィリアム・ブレイク	ダンテの『神曲』のための連作より 愛欲者の圏谷：パオロとフランチェスカ	1826-27	エングレーヴィング・紙
サー・エドワード・コーリー・バーン＝ジョーンズ	風と共に (『フラワー・ブック』より)	1905	リトグラフ・紙/ポートフォリオ
ウィリアム・ブレイク	ダンテの『神曲』のための連作より 腐敗した役人の圏谷：チャンボロを痛めつける悪魔	1826-27	エングレーヴィング、ドライポイント・紙
	腐敗した役人の圏谷：互いに引き裂き合う悪魔	1826-27	エングレーヴィング・紙
	盗人たちの圏谷：六本足の蛇に襲われるアニュッロ・ブルネレスキ	1826-27	エングレーヴィング、ドライポイント・紙
	盗人たちの圏谷：蛇に襲われたブオーゾ	1826-27	エングレーヴィング、ドライポイント・紙
	偽造者たちの圏谷：悪臭に鼻を覆うダンテとウェルギリウス	1826-27	エングレーヴィング、ドライポイント・紙
	背信者たちの圏谷：ポッカ・デリ・アパーティを踏みつけるダンテの足	1826-27	エングレーヴィング、ドライポイント・紙
ジョン・フラクスマン原画、トンマーゾ・ピロリ版刻	ダンテ『神曲』より 「ウゴリーノ伯の死」	1793	エングレーヴィング・紙/本
ジョン・マーティン	ミルトン『失楽園』(第 1 巻)より 「謀反の天使たちの墮落」	1825-27	メゾチント・紙/本
ジョン・マーティン	墮落した天使たちを呼び覚ますサタン	1825	メゾチント・紙
ジョン・マーティン	ミルトン『失楽園』(第 2 巻)より 「イヴを誘惑するサタン」	1825-27	メゾチント・紙/本
ウィリアム・ブレイク	『ヨブ記』挿絵より 扉絵	1825	エングレーヴィング・紙/ポートフォリオ
	神の玉座の前のサタン	1825	エングレーヴィング・紙/ポートフォリオ
	サタンによるヨブの息子たちと娘たちの破滅	1825	エングレーヴィング・紙/ポートフォリオ
	主の御前から進んで行くサタンとヨブの施し	1825	エングレーヴィング・紙/ポートフォリオ
	腫物でヨブを撃つサタン	1825	エングレーヴィング・紙/ポートフォリオ
	3 人の友によって難詰されるヨブ	1825	エングレーヴィング・紙/ポートフォリオ

展示室 4-② 魅せるテーブルウェア

日々の生活の中で用いられる道具たちは、さまざまなシーンで暮らしを豊かに彩る役割も果たしています。本来工芸作品には、人々の眼を愉しませるような色やかたち、質感などと同時に実用性が求められます。すぐれた作品には、作家の個性のみならず、卓抜した技と機能美に応じたデザインがみごとに調和しているのです。

今回は、郡山市出身のガラス工芸家佐藤潤四郎、イギリス 19 世紀末の工芸デザイナー、クリストファー・ドレッサーのコレクションから、テーブルウェアを特集します。中には、時代の流れとともに現在ではほとんどみることがなくなった道具類も含まれています。実際に手にした時の感触や使い心地、食のシーンなどを想像しながらご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤 潤四郎	オリンピックブルー硝子皿	1941(昭和16)頃	ガラス/宙吹	石井謙治氏寄贈
佐藤 潤四郎	『スーパーニッカ』手吹きボトル	1962(昭和37)頃	ガラス/宙吹	川崎清氏寄贈
佐藤 潤四郎	オブジェ・羊車	1980-82(昭和55-57)頃	ガラス/宙吹・ブランチ	
佐藤 潤四郎	ルーマー杯・大好きな形		ガラス/宙吹・ブランチ	
佐藤 潤四郎	ルーマー杯・なみなみのワインを		ガラス/宙吹・グラヴェール、ブランチ	
佐藤 潤四郎	花器(グリーン)		ガラス/宙吹	
佐藤 潤四郎	植物文瓶		ガラス/宙吹・グラヴェール	
佐藤 潤四郎	灰皿		ガラス/型押し	
佐藤 潤四郎	竹に雀文ワイングラス		ガラス/宙吹・グラヴェール、ブランチ	佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	タンブラー(20点)		ガラス/型吹ほか	佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	ブルー花器		ガラス/宙吹	
佐藤 潤四郎	ボウル(グリーン)		ガラス/宙吹き	
佐藤 潤四郎	タンブラー(スモークグラス)(2点組)		ガラス/宙吹き	
佐藤 潤四郎	アイスクリーム皿		ガラス/宙吹き	大方竜子氏寄贈
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック(ポイントアーチ型)	1879	金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック(青海波)	1879-82頃	金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	青緑釉水差	1879-82頃	陶器	
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック	1881	金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	柳編み把手付きダブル・バスケット	1881	金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック(楕円型)	1881	金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	塩入れとスプーン	1884	銀	
クリストファー・ドレッサー	銀製ティー・セット	1885	銀、象牙、金メッキ	
クリストファー・ドレッサー	色絵花模様大皿	1886	陶器	
クリストファー・ドレッサー	色絵花模様皿とボウルのセット	1886	陶器	
クリストファー・ドレッサー	黄緑釉水差(一対)	1892-95頃	陶器	
クリストファー・ドレッサー	黄緑釉アールヌーヴォー風装飾文皿	1892-95頃	陶器	
クリストファー・ドレッサー	刻文舟形容器	1892-95頃	陶器	
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ、黒檀把手(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ、黒檀把手	
クリストファー・ドレッサー	蓋つきスープ入れ		金属、電気メッキ、黒檀把手	
クリストファー・ドレッサー	ナイフとフォークのセット		金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	ケトルとケトルスタンド		真鍮、銅	
クリストファー・ドレッサー	六角型薬味入れセット		ガラス、金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	スプーン・ウォーマー		金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	柳編み把手付きケトル		金属・電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	蓋付きバスケット、黒檀把手		金属、銀メッキ、黒檀把手	
クリストファー・ドレッサー	デカンター・セット(栓付き細首ぶどう酒瓶)		ガラス、金属金具、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	彩色金彩花模様水差		磁器	
クリストファー・ドレッサー	染付鳥波瀟文把手付鉢		磁器	

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
●1階				
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント	
アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒	
アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒	
●2階展示ロビー				
アリストテイド・マイヨール	もの思い	1930	ブロンズ	大高善二郎氏寄贈
北村四海	井冰鹿の娘	1917(大正6)	大理石	
植木 茂	体		木	
堀内正和	顔	1955(昭和30)	鉄、セメント	
●前庭				
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ	